

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表： 令和4年 2月 27日

事業所名 さんさんくらぶ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	<input type="radio"/>			
	2	職員の配置数は適切である	<input type="radio"/>			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	<input type="radio"/>			
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	<input type="radio"/>		児童発達支援事業所との合同ミーティングの際に事業所内研修も行き、支援の質の向上に向けて学ぶ機会を設けている	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	<input type="radio"/>			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	<input type="radio"/>			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		<input type="radio"/>		外部の方に評価していただく機会を設ける事ができなかった
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	<input type="radio"/>		合同ミーティングの際に機会を設けている	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	<input type="radio"/>		面談時に保護者とも共通認識し、スタッフ間で共有した上で計画書の作成を行っている	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	<input type="radio"/>			アセスメントシートはあるが、もっとスタッフ間で共有していきたい
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	<input type="radio"/>		ミーティングで意見交換されている	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	<input type="radio"/>		季節に合わせた制作を毎月行っている	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	<input type="radio"/>		長期休暇は公園へ行ったり、お出かけの計画を立てている	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	<input type="radio"/>			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	<input type="radio"/>			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	<input type="radio"/>			
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	<input type="radio"/>		特に気になった事は日報にも記入してみんなで確認している	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	<input type="radio"/>			
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	<input type="radio"/>			以前は日常生活スキル向上の為、「おやつ作り」を行っていたが、今年度もコロナ禍により調理活動は休止している。主にコミュニケーションや社会スキルの向上に意識を向けた支援を行った。	

関係機関や保護者との連携	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		管理者、児童発達支援管理責任者が必ず出席している	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		お迎えの際に行き、お手紙をいただける学校もある	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		主治医ではなく、その子どもの保護者と連絡体制を整えている
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○		必要があれば積極的な情報共有、相互理解を推進していく
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○		必要があれば積極的な情報共有、相互理解を推進していく
	25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		コロナの影響もあり、積極的に交流する機会を設けることができなかった
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○			
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○			アンダーマネジメント等子どもとの関わりに於いて有益になる学習の機会は設けているが、保護者就労の為参加が振るわない。開催日時等検討していきたい
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○			交流相談会を行ったが、保護者就労の為参加が振るわない。開催日時等検討していきたい
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		LINEを活用して概ね週1回メールマガジンの配信を行っている	
	35	個人情報に十分注意している	○			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		コロナ禍でもあり、招待できるような行事は何も行えなかった

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			スタッフへはミーティング等で周知を行っているが、保護者へ向けての発信をもっと意識を高めていきたい
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		毎月テーマを変えて避難訓練を行っている。また今年度は消防隊の方に来ていただき訓練を行った	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		合同ミーティングの際に研修を行っている	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○		医師ではなく、保護者の指示により対応している
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			